

大阪府学校図書館協議会 泉北地区

令和元年度 活動報告

堺市小学校

学校図書館部会

1. 研究テーマ

「豊かな心と自ら学ぶ力を育てる学校図書館教育のありかた」
～学習センター、情報センターとして子どもの主体的な学びを支えるために～

2. 研究実施状況

実施日	研究内容の概要
5.8 (水)	○年間活動計画作成 於：熊野小学校 ・研究テーマ、活動方針決定 ・年間計画作成 ・11月22日大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会 役割分担決定
6.12 (水)	○実践報告 「パスファインダーおよび読書感想画」 百舌鳥小学校 古谷 緑先生 ○自主研修 於：熊野小学校 ・読書感想画の指導について ・技法の実践（マーブリング・コンテパステル） ・テーマ「堺学」の本について選書紹介
8.20 (火)	○教職員教育研究講演会 於：梅文化会館 「堺を感じてもらえるどこでもドアー」華美（紙）芝居 講師 NPO法人堺観光ボランティア協会・華美芝居部隊
9.5 (木)	○読書感想文コンクール審査 (1) 審査用冊子準備
9.25 (水)	(2) 二次審査会
10.2 (水)	(3) 三次審査会
11.2 (土)	(4) 表彰式

11.22 (金)	<p>○大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会（泉北大会）開催 於：サンスクエア堺</p> <p>研究主題 「豊かな心と自ら学ぶ力を育てる学校図書館をめざして」</p> <p>・実践報告 「子どもが作るパスファインダーおよび読書感想画の指導」 百舌鳥小学校 古谷 緑先生</p>
1.8(水)	<p>○読書感想画コンクール審査 於：上野芝小学校</p>
1.22 (水)	<p>○授業研究 於：神石小学校</p> <p>・生活科「たのしさ 見つけたよ ふゆ」(1年) 神石小学校 徳永 真吾先生</p> <p>・研究討議会</p>
2.12 (水)	<p>○実践交流会</p> <p>・各部員による読書推進活動，学習・情報センターとしての活用事例，委員会活動などの実践報告</p>

○研究のまとめ

(1) 研究の視点

次期学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、学校図書館の機能を生かし、活用していくことが求められている。特に、教科等横断的な教育内容の組み立ては、これまでも学校図書館で実践してきた調べ学習がこれにあたり、今後はカリキュラム・マネジメントの一つとして実践がさらに広まるとされる。この横断的な学習には、多種多様な資料が利用しやすいように組織化されていることが不可欠である。しかし、学校図書館が、学習活動を支える「学習センター」「情報センター」として十分機能しているとは言い難い状況である。

そこで、読書単元や探求的な授業に対応する図書・資料を整えたり、それらを使った学習活動を考えたりすることを中心に研究を進めた。たとえば、さまざまな学習活動内容にふさわしい本の収集を行った。どのような本を選ぶかは、対象学年はもちろんのこと、同じ単元でも指導のねらいによって変わってくる。そこで、各研究部員は本の情報交換を行い、よりよい選書をめざした。

また、子どもたちが必要な情報を入手し、的確に記録する学習や入手した情報を比

較・関連・総合しながら再構築する学習，考えたことを自分の言葉でまとめ，伝えることで互いの考えを広げ，深める学習を計画し，実践および研究を行った。

(2) 成果と課題

《授業研究》

1 年生活科「たのしさ 見つけたよ ふゆ」(1 月実施)

お正月の遊びから昔遊びへの興味を高め、地域の方に教えてもらったり、実際に遊んだりした以外の遊びを探求する活動である。図書を活用して、どのように遊ぶのかを調べ、遊び方の理解を深めるとともに、他児童が調べた遊びについても知ることによって昔遊びの理解を広げていく。

基本的な遊び方からていねいに説明してあり、しかも説明がわかりやすいものの、という図書を準備することが難しかった。使いやすいと思った本は、用具の持ち方や準備から書かれたものである。シリーズの中でいくつかの遊びがあるので、部会内で情報共有し、各学校の選書に生かしていきたい。

《大阪府・大阪市合同研究集会（泉北大会）》

研究集会での発表に向けて、昨年度から読書感想画の指導について取り組んできた。子どもたちの感想を適切に表すためには、個別の支援が欠かせない。表現技法についても、各月の部会で実践したり、実践報告で情報交換をしたりしながら研究を進めた。その結果、読書感想画の指導について、一定の共通理解を図ることができた。一方で、選書の難しさ、児童の思いを表現につなげることの難しさなどの課題も残っている。

《教育研究講演会》

堺の歴史を紙芝居や劇で紹介していただいた。児童向けに書かれた郷土資料が少ない現状で、堺の歴史を知る方法の一つだと考える。堺が生んだ偉人や堺に残る昔話などいくつかのタイトルがある。高学年では偉人、低学年では校区内の昔話について学ぶことができる。偉人についての児童用図書は、数種類しか出版されていない。また、堺の昔話として出版されているものは、低学年児童には難しい。引き続き、部内で情報交換を行っていく。

《その他》

情報活用能力の育成について、学び方を学ぶ方法として、パスファインダー作成について研究、実践を行った。「堺学」をテーマとして各部員が本を持ち寄り、選書を行った。郷土資料は、出版されている本が少ない上、一般に販売されていないものも多く、各部員が持ち寄り、中身を見ながら選書できたことが大きな成果であった。世界遺産登録があり、堺についての本の出版が増えてくることが予想されるので、その都度、情報交換を行い、資料収集に努めたい。

3. 定例日以外の研究

(1) 運営委員会，研究委員会

部会の運営方針や年間計画の検討，各研究集会，大会の準備などを行う運営委員会と，授業研究実施に向けた指導案検討，実技研修などを行う研究委員会を適宜実施した。授業づくりで必要となる選書の情報交換をその都度行った。

(2) 堺市読書感想文コンクール，読書感想画コンクール

全部員が堺市学校図書館協議会の幹事となり，堺市学校図書館協議会，及び大阪府学校図書館協議会と連携し，読書感想文コンクール，読書感想画コンクールの審査に参加。読書感想文コンクールでは，審査準備から3次審査，表彰式準備，表彰式までに参加した。また読書感想画コンクールでも審査に参加し，子どもたちの感受性豊かな作品や想像力に富んだ作品に触れることで実践力を身に付けた。

4. その他

- ・大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会開催
- ・堺市読書ノート「堺100冊チャレンジ」への参加
- ・堺市選書支援事業，巡回訪問事業への参加
- ・各校の学校図書館整備，読書活動推進などへの助言・協力

堺市中学校

中教研図書館部会の活動について

堺市中学校教育研究会
図書館部会

1. 研究テーマについて

研究テーマ

- ・ できることから始める学校図書館の利用指導
- ・ 学習情報センターとしての学校図書館の利用

「生徒にとっての学校図書館が魅力的なものであるためにはどうすればよいのか。」
「学校図書館を学習情報センターとしてどのように機能させるのか。」を1年間の研究テーマとして考えていきました。

2. 活動内容について

図書館部会の活動には大きな二つの柱があります。

ひとつは、毎年7月に実施される「堺市中学校連合読書会」

もう一つは、「読書感想文コンクール」です。この二つの活動を中心に、年間4回（6月・7月・9月・1月）の部会を設定しています。

今年度は以下のような内容で部会を行いました。

○ 6月部会

研究テーマ・年間計画の設定

運営組織の編成

「第59回連合読書会」のテキスト決定

○ 7月部会

「第59回連合読書会」打ち合わせ

○ 9月部会

「読書感想文コンクール」二次審査

○ 1月部会

令和元年度の反省・次年度への展望

3. 「堺市中学校連合読書会」について

連合読書会が成功するためには、「テキスト」選びが重要です。そのため、テキストの選定には毎年悩みます。

選定のポイントは次のようなものです。

- ・ 中学生にとって、魅力的で興味がわく内容であるか。
- ・ 異なる視点があり、意見の対立が予想できるか。
- ・ 限られた時間の中で全体を見通せることができる長さであるか。

今年度のテキスト『繁栄の花』星新一 著は、地球人と宇宙人の交流の中で、地球人の

傲慢さと身勝手さ。宇宙人のしたたかさ。そういうものが描かれています。

この57年前に発表された作品を生徒たちが、現在の社会情勢やSNSの問題に発展させ、考えて意見を交換している姿に驚きました。長く読み続けられる作品と言うのは時代を超えて語りかける力があるものだと思います。

読書会終了後は、会場で交わされた意見や感想を掲載した冊子を作り、参加者に配布しています。

4. 「堺市読書感想文コンクール」について

読書感想文コンクールは夏休みあけに、各学校での一次審査を行い、その後、二次審査・三次審査を経て、大阪府代表となる作品を選びます。

読書感想文を書くということは、自分の考えを形ににして残すという作業です。「ことば」として書き留めることによって、自分の考えを形にし、その考えをたくさんの人と共有することができます。

各校から出品された作品を読むと、本の世界を味わい、自分の体験と結びつけながら考えを深めている作品が多く見受けられました。

5. 最後に

中教研図書館部会は、各中学校での活動が中心ですが、学校以外の多くの方々に活動を支えていただいています。地域の方が図書館ボランティアとして、学校図書館の運営に参加されている学校もあります。

また、堺市図書館の司書の方との交流も継続して行っています。司書の方の専門的な知識をもとにした、「中学生に おすすめの本」は大変参考になります。リサイクル本の提供もしていただき、学級文庫等の充実に役立てています。

今後も読書が生徒たちの知的な活動を支えているという自覚を持って、本と生徒をつなぐ図書館部会の活動を展開していきたいと思えます。

和泉市

令和元年度 和泉市小学校教育研究会図書館部会活動報告書

1. 組織

顧問 門林 知子（光明台南小）
部長 中野 剛寛（北松尾小）
運営委員（委員長）國尾 優美子（南横山小）
鈴川 真理（和気小）
井上 久子（北松尾小）
横田 葉月（いぶき野小）

2. 研究主題

子ども生き生き、本大好き ～本で世界を広げよう～

3. 研究内容

- 5/13 主題設定 年間活動計画作成（北松尾小）
6/10 図書館を使った調べ学習（和気小） 講師：和泉シティプラザ図書館
10/21 図書館で使える工作（池上小） 講師：にじの図書館
11/11 おすすめの本紹介（光明台北小）
12/2 アニメーション（緑ヶ丘小） 講師：和泉市子ども読書活動推進計画策定委員長
脇谷 邦子 氏
読書感想画審査会
2/3 人形劇（和泉市図書館）
おはなしバスケット「三枚のおふだ」
年間反省

4. 成果

どの活動も興味深く、楽しく取り組むことができた。工作では、実際に学校のクラブ活動に取り入れて取り組むことができた。また、本の紹介はバラエティーに富んでいて、それぞれの学校の教師が楽しく読み聞かせをし、各学校に紹介し広げることができた。

読書感想画選考会では、和泉市内で出品された作品について話し合い、教師にとってもいろいろな作品にふれる良い機会となった。

5. 課題

調べ学習が難しかった。また、参加人数が少ないこともあった。

6. 来年度に向けて取り組みたい活動

- ・工作
- ・調べ学習では、題材の決め方を教えてほしい。
- ・本の紹介
- ・図書館見学
- ・アニメーション
- ・作家（かぜのうしおさん）を招きたい。

高石市・忠岡町

RI年度

高石・忠岡小学校 図書館部会の取組

高石市7校、忠岡町2校、全9校の学校図書館担当が年7回集まり活動を行っています。

主な活動内容は、

- 読書感想文、読書感想画の地区審査
- 読書感想文集の作成
- 情報交流と研修



活動報告

- 5/15 年間計画作成 ひろば読み計画
- 6/19 大阪府立中央図書館との交流
(調べ学習、学校司書との連携等)
- 9/4 読書感想文コンクール一次審査
- 9/18 読書感想文コンクール二次審査
- 11/22 第52回府市合同学校図書館研究集会 サンスクエア堺
- 1/15 指導案交流
- 2/19 反省会

研究テーマ

学びを育む

楽しい図書

館づくり

学校図書館を充実・活用するためのモデル小学校(取石小学校)の取組・実践を市内に発信することができた。本実践は、文部科学省の実践事例としても紹介されている。

取組・活動の工夫や特徴

- 取石小学校では、ねらいの達成に向けて、これまでも書く力を育成するための取組みを継続して行ってきたが、資料をもとに相手にわかりやすく伝えたり紹介したりする言語活動をさらに授業で取り入れた。
- あわせて、多くの図書に触れ、描写や表現の仕方を学ぶ活動や、要約する活動を通して語彙数を増やすように工夫した。
- また、授業の中で学校図書館の図書や資料などを活用する機会を増やし、学習を深めたり、探究的な学習を行ったりすることができるように、これまでの読書センターとしての役割とともに、学校図書館が情報センターや学習センターとしてより機能するよう努めた。